



日本離床学会
教育講座

患者さんの筋力がミルミル回復！ 急性期における 栄養・嚥下の考え方

～専門家から学ぶ最強アプローチ～

東京講演

講座コード/R-42

難易度

★★★★☆

日時：2020年

4月18日(土) 14:30～18:30 4月19日(日) 10:00～16:10

場所：全労連会館（地下鉄・JR 御茶ノ水駅より徒歩 5 分）

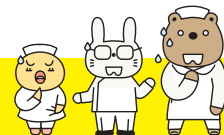
講師：中村 謙介 先生（日立総合病院 救急集中治療科 医師）

中村 昌孝 先生（守谷慶友病院 作業療法士）

対象：看護師・PT・OT・ST・栄養士（左記以外でも受講可）※事前登録制：定員になり次第締切り ※食費・宿泊費等は含まれません。

受講料：2日間 一般 19,800 円（税込） 会員 16,800 円（税込）

栄養だけだと患者さんは悪いままですよ



栄養は大切。わかっているけれど、それだけで患者さんは回復してくれません。飲み込む機能も大切だし、力になるメカニズムを知っていなければ、間違ったアプローチをしてしまうからです。この講座では、栄養の基礎から嚥下アセスメント、効果的なリハビリの仕方まで幅広く解説、患者さんを「ピン！」と良くするポイントを学びます。ピチピチと活きた知識が満載のライブ講義！お見逃しなく！！



これならいける！栄養・嚥下・筋力トータルアプローチの実践

総論

なぜセラピストが栄養・嚥下を気にする必要があるのか ～ PICS、ICU-AW の概要とメカニズム新概念 PACS とは～

栄養

①最前線の救命医から学ぶ急性期栄養療法の考え方

②急性期・回復期・健常者 時期によって異なる
カロリー制限の意味と活用法

③経口？経管？PEG？急性期における
栄養提供の具体的な方法と管理のしかた



筋力

①あなたの筋トレにも役立つ！？

筋合成の理論とエビデンスから考える栄養／運動のあり方

②急性期にこうすれば筋力は落ちない！

ちょっとしたリハの工夫で最大の効果を上げる方法とは



離床・リハビリテーション

①栄養／嚥下／筋力 全ての要素を持ったアプローチの考え方

②重症患者、意識のない患者にも行える

究極の運動療法とは

③ICU／急性期における離床の進め方



嚥下

①どこまでよくなる？食べられる？

摂食・嚥下機能の予後予測

②患者さんの機能に合わせた「とろみ」粘度の調整法

③みんなヘッドアップ 45 度はキケン！
病態別にくっきり分ける食事姿勢の取り方

④食べさせるのは怖い！

そんな不安を吹き飛ばす食事開始のベストタイミング

⑤知っておきたい ICU-ASD / フレイル患者の
嚥下のアセスメント

⑥CT・VF/VE・血液データ 栄養・嚥下にまつわる
検査データのみかた

⑦スピーチカニューレになってからでは遅い！？
気管切開下での食事を行うコツ



症例

実際の事例にみる栄養・嚥下・筋力に対する
リハビリテーション～介入のポイント～

※この講座は、離床アドバイザー理論 2 単位が取得できます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録

② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送

申し込み用紙はホームページ
からもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 ブラーレルビル 2F

ホームページ <https://www.rishou.org/>

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683

Eメール jsea@rishou.org

